

報恩寺だより

平成19年3月13日
綾瀬市寺尾南 2-10-1
おたすけ観音 報恩寺
電話 0467-78-7160
FAX0467-79-1567

大般若祈祷会勤修について

4月17日は、おたすけ観音の縁日です。皆様の家内安全、身体健全、諸災消除、諸縁吉祥を祈り、大般若祈祷会を次により行いますので、お誘い合わせのうえ御参詣くださるよう、ご案内申し上げます。

記

期日 **4月17日(火)**

※今年は都合により4月17日に行います。

日程
午後1時 御詠歌
午後2時 法話
午後2時半 大般若祈祷会
午後3時 小斎

祈祷料(2000円)は、この報恩寺だよりを郵送した封筒にいれ、
当日御志納お願い致します。

特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

橘川 節 様 武藤久雄 様 柏木行雄 様 戸井田国照 様

近藤博保 様 武藤耕一郎 様 笠間孝男 様 橘川則幸 様

橘川泰一 様 奥津幸代 様 伊藤 勲 様 奥津裕之 様

山下清司 様

生きる気持ち

その方は 5,6 年前脳梗塞で倒れたのだという、すぐに病院に運ばれ治療をしたが後遺症は残るかもしれませんと、お医者様から言われたらしいのです。その方の娘さんが見えられ、詳しいことも聞かず「おたすけ観音」のご祈禱をさせて頂きました。するとなんと、後遺症も残ることなく完治されたという。素晴らしいことです。これにはお医者様もびっくりされたそうです。

そして、2 年後また同じ病気で倒れられたそうです。今度こそは、「命が助かったことが奇跡的なことです。後遺症が残ることは覚悟しておいてください。」とお医者様から言われたそうです。その時も娘さんが見えられ「おたすけ観音」の御祈禱をさせて頂きました。なんと、またまた後遺症も残ることなく完治されたというのです。またもやお医者様もびっくり、こんなことは前例のないことです。どうしたらこんなに回復するのか調べさせてください。といわれたそうです。

去年 11 月末頃、また娘さんが見えられ、今父が入院中なので闘病平癒の御祈禱をしてくださいといわれ、その方の事情をお伺いいたしました。今までは娘さんのことや、中学生になるお孫さんのお話はお伺いしていたのですが、その方のお話を詳しく聞くのは初めてでした。

なんと、またもや同じ病気で倒れられたそうなのですが、今回は今まで以上に危険な状態で明日手術をするのだということでした。

とても生きようとする気持ちが、治ろうとする気持ちが強く、一生懸命リハビリをするのだそうです。そして、少しでも動けるようになると同じ病室の患者さんを励ましに行くのだそうです「絶対良くなるからあきらめるんじゃないぞ」と、そして、闘病生活も長いベテランさんですので、ほかの部屋にもお知り合いがたくさんいらっしゃいますので広い病棟の中を励まして歩くのだそうです。

その方は「わしゃ生きる」という気持ちを常に持ち続けとても前向きな方なので、悩みを抱えた家族がお見舞いに行くと逆に元気をもらってくるのがしばしばあったといいます。

ご自身の「生きる気持ち、諦めない心」それが病気を治したのではないのでしょうかと聞いてみると、それもそうなのですが常に「おたすけ観音」のお守りを肌身離さず持っていられるのだそうです。

その強靱な「生きる気持ち、諦めない心」を支えているのはお観音様を信じる心だったのです。どのような状態でも絶対希望を捨てない、そのことがご自身の病気を完治させるばかりではなく見る者、聞く者に感動と安心を与える、まさに苦しみの現場に現れ、ともに苦しみ救ってくださるお観音様のような方です。どうかまた奇跡的な回復をされ、リハビリがてらお観音様にお参りに来ていただけることを願います。